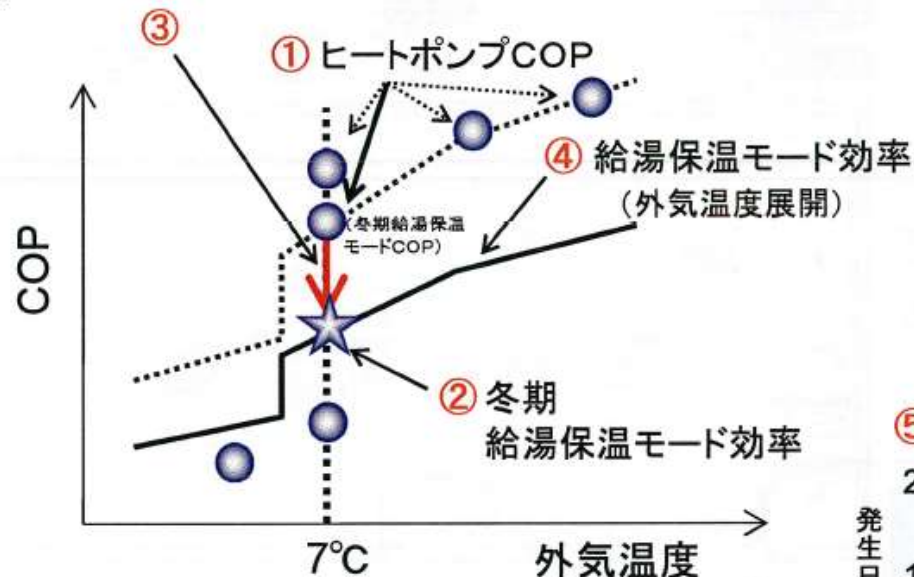


ヒートポンプ・給湯保温効率係数FHM

[＝冬期給湯保温モード効率／冬期給湯保温モードCOP]

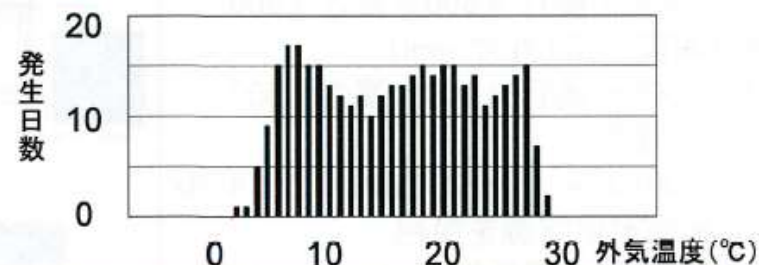


① ヒートポンプ加熱性能試験(6条件)

単位:°C

条件	乾球温度	湿球温度	入水温度	出湯温度 (例)
夏期標準	25	21	24	65
中間期標準	16	12	17	65
冬期標準	7	6	9	65
冬期給湯モード	7	6	9	70
冬期高温	7	6	9	90
着霜期高温	2	1	5	90

⑤ 外気温度発生頻度(東京・大阪平均)



◆年間給湯保温効率算出の手順

- ①ヒートポンプCOPの外気温度特性を求める <ヒートポンプ加熱性能試験(6条件)>
- ②冬期条件(7/6°C)にて、給湯保温モード効率を求める <給湯モード性能試験>
- ③冬期条件(7/6°C)にて、給湯保温モードCOPと給湯保温モード効率の比を求める
<ヒートポンプ・給湯保温効率係数FHMの算出>
- ④FHMを全外気温度に展開し、給湯保温モード効率の外気温度特性を求める
- ⑤外気温度発生頻度(東京・大阪平均)を用いて年間給湯保温効率を求める